12 de Dezembro de 1924 N.401

Nippak - Shimbun

Caixa 375 S.Paulo Brazil
Direcctor Sack Miura

日伯新聞

聖市エー・ボスト・デ・カストロ街十八
カイシヤ三七五
發行所 日伯新聞社
購讀料 一ヶ年十ミル
廣告料 一行八ミル

北米の轍を踏む勿れ

同じ人間のことだから同じ現象の生ずるは免れぬ次第ながら在伯本邦人の從來の行方は遺憾ながら北米の其れに少しも變りはない、吾人は在米本邦人の行方を以て一から十迄悪いといふのではないが移殖民としての欠點短所は可なり澤山にあり、それを種々な方法で表現したものである、素より時代も今はちがふか夫に顧みて自覺し改善する所がなければ在伯邦人の立場は決して鞏固に赴くものとは云へない。

これはホンの一例であるが先頃ある或方面の日本人會から某氏へ常任幹事を置きたいから寄附をしてくれろとセガンで來たものがある、元來日本人が屁でもない事に寄るときは會を作りたがるは善くない僻で彼の何々縣人會などを建てゝ同じ日本人でありながら僅かに同縣人だとか同藩であつたと云ふケチな理由の下に排他的の集團を作るなどは日本人にのみ存する惡現象であつて諸外國の何者にも無い所である、それも爲めの必要があつて集團として有意義なものなれば格別、北米邦人の例に照らせば多くはどれもこれも却つて邪魔であつて無くもがなのものである目下米國邦人間に存する數ある日本人會縣人會農會など何れもヨイ加減なもので功罪何れかと嚴密に云へば成績の認めらるべきものは殆んど一も無い風である。

強ち北米のそれを眞似た譯でもあるまいが在伯邦人の中にも隨所に日本人會縣人會などが起さつつあるが全く國民性を異にする人間だけに全然集團機關の必要を認めぬとは云はぬが其所に我々海外に在住する日本人は考へねばならぬ點がある、情の發するが儘に因習に陥落するが儘に放任しておけば矢張り北米の轍を踏んで他人の財布をアテにして迄も會を作らふとするに至るのである、早い所で江戸ッ見や大阪者に縣人會があるか、縣人會などは無いのが世界的で、あるのは明かに島國的排他的だ、實例でみても一般に最もカケ離れて居る者の縣人會が一番强固だ之れ即ち反面には一般的でなく國際的でない證據である。

人の財布をアテにして迄も會を作らふとするは惡い遅れた見で常任幹事を置きたいから金を寄附して呉れろなどは沙汰の限りと云はなければならぬ、集團機關の設置は必要に似つて生れ、之を作製維持する甲斐性があつてのことであらねばならぬ要するに在伯邦人の自覺を土臺とし人を得て始めて物になる、人を得ずして無自覺の有象無象が寄集つてみても所詮は赤恥をかくのが落ちである、吾人は在伯同胞に向つて北米の轍を踏む勿れと勸告したい。

▲母國近情▼

●各省の豫算要求
二億圓に上らん
各省の明年度豫算要求額は二億円に上るが大藏省側では六千万円と大体の意見を定めてゐる

●東京市外債發行
東京市は來春早々一億円に上る外債を發行するが此に就き濱口藏相は募集市場は多分英國になるだらうと云つてゐる

●明年度外米輸入豫想
明年度外米輸入は凡そ五百万円の見當である

●政府近く[illegible]債償還
對外爲替[illegible]、政府は日々暴騰しつゝある[illegible]政府は近く物價調節策を講ずる筈な

●政友會と政府衝突
與黨一派たる政友會側は鐵道の廢止、鐵道新線路の增設、舊線路の修繕等を主張し内閣側は之が不可能として強硬に撥ねつけたれば政は此問題にて一騷動起さんやも知れず

●非憲政派團結
政本合同の前提
貴族院研究會の幹部たる大木遠吉伯後藤新平氏並に田中義一大將等が中心となり政友本黨と政友會合同の機運を醸すべく目下盛に非憲政派の合同を斡旋中

●外交官の大異動
駐英大使林權助、駐伊大使落合謙太郎兩氏は明年四月に、瑞西公使畑良太郎、西班牙公使廣澤金次郎、智利公使清水清三郎、ルーマニヤ公使堀口九萬一、シヤム公使矢田長之助諸氏は六月に又紐育倫敦ブエノスアイレス各地駐在商務官は三月中にそれぐ歸朝を命せらる

●學生軍事教育強要
文部省側の反對にかゝはらず明年四月の新學期から中學程度以上の學校に軍事教育を授くることに決した

●製鐵所長官新任
製鐵所長官白仁武氏は郵船社長に就職せるため其後任として同次長副島千八氏が長官事務取扱を命せらる

●遞信省郵税引上案
之を財源として下級員待遇改善
犬養毅氏を大臣に政務次官參與官等の革新倶樂部より成る遞信省は郵税を引上げて財源とし郵便配達夫其他省内の下級員の待遇改善策を立てたが大藏省では之に反對してゐる

如何なる（三）

星野生

▲此マニフエストは十月二十九日にリオグランデのサントアンジエロで民　頒布されたものであつて約文の様な言味の莊嚴な文章に書かれてある

▲吾人は今將にブラジル共和國の爲めに最善の努力を爲すべき秋にある四ヶ月前サンパウロに起つた革命運動は之に拔つて誅求を事とし腐敗を極めし現政府を倒し以て伯國の繁運を致さんとするにあつた。今や伯國は其南方を論せず悉く革命運動に共鳴し革命の成功を熱望せざるものはない、嘗し我革軍の主張は伯國の隆替に缺くべからざる必須の要素であつて無記名投票、選擧の神聖、正直なる民衆の勢力助長、瀆職官吏の排斥、職業政治家の絶滅等皆啻に伯國民のみならず在住外國人の等しく希望して已まない處である（中略）政府は手を盡して一切の通信機關に厳重な拘束を加へてあるが我革軍が到る所民衆の同情を得今日に到る迄少しも挫敗せずサンパウロを撤退せるは單に軍隊を休養せんが爲めなりしを蔽ふことは出來ぬ、革軍は確實にサンパウロ州の砲を所有しそれに要する彈丸二千萬發及全く使用せざる小銃九千挺を保つ、而してマットグロツの南部及パラナの大部分は其支配下に屬し今再び新鋭の軍を成して攻勢に出でんとしつゝあり、政府が遂次八個の軍團を編成して我革命軍に對抗せんとしたりしも兵士は戰ふを肯せず、偶々戰ふものは海軍陸戰隊の如く慘憺たる敗北に陥り遂に八個の軍隊は全部之を解体せざるを得ざるに至りしは既に世人の熟知する所であつて、ロンドン將軍の率ゆる現在の政府軍の籍派さへ已に方つて政府は遂に革軍が國民の要望なるを認めざるを得ざるに至つたのである（中略）今は即十月二十九日我リオグランデの革將はイツードロ將軍の命に依り一齊に起つて革軍の大計畫遂行を期せんとす（下略）

Dr. Arthur Zapponi
Medico, Operador, Parteiro

醫師 アルツール ザツポーニ

診療所（午後三時より五時迄）
聖市サンベント街四十番 二十二十一番室
電話セントラル 六三二一

自宅（自午前八時至九時 自午後一時至二時）
聖市アベニーダランゼルペスターナ街一五五

VINHO BI-DIGESTIVO
CASTIGLIONE

一瓶を試みよ●胃病立處に跡を絶たん

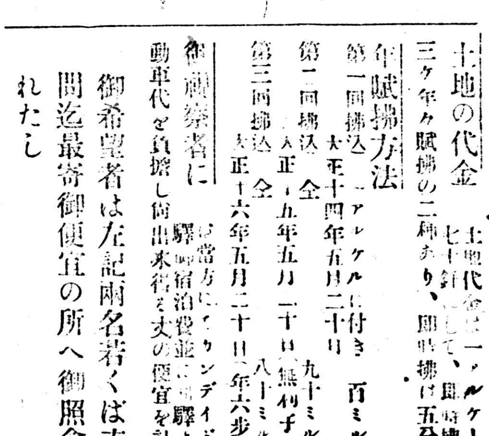
健胃劑の王

健胃劑●として輸入せらるゝ外國品の数多ければとも其効果の顯著なるは本劑の右に出づるものあらじ。

胃弱●消化不良●胃擴張●食慾減退●病後衰弱●氣力乏失●胃腸病等の症狀に苦む人の必須藥。

發賣元
PHARMACIA E DROGARIA
CASTIGLIONE
Rua S. Bento N. 41-A S.PAULO

FAZ. RIBEIRÃO DO VEADO
Proxima Est. Candido Motta
Linha Sorocabana



土地賣出

珈琲地帶五千アルケーレスを提供
將來唯一の珈琲地帶として一般の注目するパラナ州北部

地名を『リベロン、ド、ベアード』と呼び、カンデイド、モツタ驛より三十基にあり、面積一万アルケーレスの内、第一期賣出しの珈琲地帶五千アルケーレスとす、但し同地帶はパラナパネマより更に九基、水清く豊なる健康地

高度と地質
五百米突より七百米突の高度を有する至土ムラなきテーラローシヤにして、珈琲以外何作にも適する原始林なり

現代交通路
カンデイド驛より完全なる自動車道直通し、且つカンバラよりコンゴニヤに至る自動車道は同地中央を貫通せり

鐵道の將來
現にカンバラ迄開通せるオウリーニヨス起點パラナ北西線は遅くも四年以内に其中央を貫通しジヤタイに達せん

土地の代金
土地代金は一アルケール二百七十ミルにして、即時拂、並に三ヶ年々賦拂の二種あり、即時拂は五分引とす

年賦拂方法
第一回拂込 一アルケールに付き 百ミルレース 大正十四年五月二十日
第二回拂込 全 九十ミルレース 大正十五年五月二十日（無利子）
第三回拂込 全 八十ミルレース 大正十六年五月二十日（年六歩利子付）

御視察者に
は當方にてカンデイドモツタ驛の宿泊費並に同驛よりの自動車代を負擔し何出來得る丈の便宜を計るべし

御希望者は左記兩名若くは直接顧問迄最寄御便宜の所へ御照會下されたし

申込所
パラナ州の土地には如何はしきものありと聞く、地權確實の證明と賣買諸手續に關し便宜を得る要あり、顧問を置く所以なり、御安心の上申込あれ

アラ、クワラ線カタンヅーバ驛 郵函 八四二 氏原彥馬
ソロカバナ線アバレ驛 郵函 四 西山鐵次郎
イグアツペ殖民地州政府監督官 明穗梅吉
Ru S. [illegible] 9 S.paulo

顧問
辯護士 ドトール ガストン、サントス、モレーラ
Dr. Gastão Santos Moreira
事務所 Rua Direita N.7 4Andar Sala 50 S.paulo

▲最近電報▼

●駐米大使決定

政府はかねて物色中なりし駐米大使に關し外務次官松平恒雄氏の任命を決定せり外務省は近く米國政府の意嚮をたゞねることになつた（八日東京）

●印度の獨立運動

印度の怪傑ガンジーは過般ナホールに於ける演説し爲政の宣傳、其の實現と統御を揚言し近く印度の獨立を遂行し得るだらうと説き再び新政爭を開始した（十日カルカッタ）

●北米の新建造艦

上院は新建造艦の提出を承認せり尚其の計畫實現に要する費用は一億一千万弗に上らん（十二日華府）

▲内外雜俎▼

●ボテリヨ氏の邦人視察

リオ州選出聯邦代議士で財政委員なるオリベーラボテリヨ氏は在伯日本移殖民狀況視察の爲め去八日入聖した。右に付き領事館海外興業會社などでは相談の上同氏の旅行日程を作りモジアナ線からアラ、クワラ線よりノロエステ方面を案内し最後にイグアペ殖民地に案内することになり海興からは山田揚之助氏明穗梅吉氏が出張してアニユーヮス耕地及カムブイ耕地で同氏を出迎えることとしボテリヨ氏は帝國大使館通辨粟津金六氏を連れ去九日リベイロン向け出發したが仄聞する所に依れば同氏の視察は我移民に對して頗る重大なる意味がある由にて聖市官憲の間でも之が應接案内には殊の外注意して居るさうだが丁度リベロン分館主任早尾書記生がボテリヨ氏來聖の時にはサンパウロに來て居たにも拘らず悠々サントスに遊びに行きボ氏と同行リベロンに歸らうとせず總領事館も之を命令し得ず區々たる分館が我儘勝手の振舞ひをなし春日副領事に打ち合せることがあるとの口實の下にさつさとサントスに下つて仕舞つた。本社がいつも云ふ通り伯國の移民問題を打ち壞すものありとすればそれは帝國官吏だと云ふのは茲のことである

●内閣一部改造か

かねてベルナルド内閣は一部の改造を見るべしとは消息通の間に於て取沙汰されて居た所であるが愈々内相ジョアンルイス氏は出でて大審院法官の職に就くこととなつた後任はミナス州代議士アフォンソペンナジユニオル氏に内定して居る仝氏は聯邦州統領に擬せられたこともあり因にルイス氏は省務形付け其他の爲實際に内相の椅子を去るは明年早々なるべしと

●南河州形勢重大

同地の革命沙汰は其後依然として煮え切らず追撃軍も渉々しき功果を擧げないが最近ペノスよりの通信に依れば愈々アンスフラジル氏は革命派の首領として正式に推擧された模樣である聯邦政府が懸軍萬里南河州へ多數の軍隊を送つてをるが出征の兵士は何れも戰意なく動もすれば革軍に寢返りを打つの心配があるので當局も此點は頗る憂慮し居る模樣である。イジードロ、ゼカチット、ジヨアンフランシスコなど革軍の猛將連は何れも健在なることは確實で何所をどうして來るものか聖市などでは革軍の宣傳ビラが時々散布されそれが直ちにタイプライターで次から次く分布されて行く

●財界不況

革命の餘波が南河州に殘つておるので首府リオでは尚暴動の勃發氣配が止らぬ爲一般財界は之れが影響を受け金融の逼迫を來しリオサンパウロとも一流の銀行でも金が無いと云ふ奇現象を呈するに至つた金持連は何時暴動が起るかも知れぬとの恐怖心からドシ〱預金を引出し我家に持歸るので金融界は殆んど動きが取れず確實なる手形すら割引困難の狀態である右に付きリオサンパウロ兩商業會議所では政府に向つて應急策を講じて貰ふべく陳情したが政府でも輕々しく紙幣を增發する譯にも行かず目下苦心中である

●陸相豫備編入か

現陸相元帥セランブリノカルバーリヨ氏は豫て豫備編入の希望あり旣に其方の願書を差し出して居たが探聞する所に依れば茲數日間に許可さる可しと同將軍は旣に現役にある事三十一年其間重要軍事改革に關係したること少からず今氏の軍籍引退に依り目下南河州に出征中のシプリアノ、ノエレーラ大將の元帥昇級を見る可しと

●飛行記錄

佛蘭西飛行家トレットは同乘者一人を乘せプロペラを止め四十六秒間空中滑走に成功せり尚飛行家ボンチは一時間四百四十九キロ米の速度の世界的記錄を作つた

▲此の間日本から木村某といふのが來てノロエステ地方を視察したが▲觸出しが慶應出で貿易商だといひ日本へ歸れば代議士候補に立つてくれと云ふ言草であつた▲此の奴大分ロッコだぞと身元を檢べてみると遞信省の腰辨上りで小間物屋を營なんでをる者だと分つた▲小間物屋さん鎌倉丸で歸る前にフランセーザの味をきいて土産にしたいと或人に案内を賴んださうな▲其男も氣を利かして安物のボラツカを案内した所小間物屋君梅ケ谷の樣な女に抱きつかれて譯もなく悲鳴をあげ『ヒヤエー、助けてくれ』

商況

十二月十日調

品名	單位	價格
米（特等）	六〇キロ	八八、〇〇〇
仝（最上）	〃	八三、〇〇〇
仝（上等）	〃	七五、〇〇〇
仝（並等）	〃	七二、〇〇〇
籾（特上）	〃	—
かてて（特上）	〃	八〇、〇〇〇
仝（最上）	〃	七六、〇〇〇
仝（上）	〃	—
仝（並）	〃	—
仝（上）	〃	—
綿花十五瓩（エニフーマ）	一アローバ	七四、五〇〇
砂糖（特等）	六〇キロ	七〇、〇〇〇
仝グリスタル	〃	五八、〇〇〇
豆（ムラチニヨセッカ）	〃	八〇、〇〇〇
仝（中）	〃	六四、〇〇〇
仝（ムラチニヨアグア）	〃	—
仝（中）	〃	—
仝（アランコ）	〃	—
ミリヨナマレリニカ	〃	三四、〇〇〇
ムレレイロ	〃	三四、〇〇〇
ブランコ	〃	三四、〇〇〇
豚脂	〃	二三〇、〇〇〇

●告示

國籍法改正に伴ひ出生屆出上注意を要する事項

我國籍法中外國出生に基く二重國籍者の日本國籍離脱に關する規定改正せられ本年拾貳月壹日より施行せらるゝことゝ爲りたるを以て當館管轄内在留者中同日以後伯國に於て生れたる子女の爲め日本の國籍を留保せんとする者は左記事項に注意し出生後十四日内に當館、分館又はサントス出張所に屆書の必ず到着する樣取計はるべし

尚今日迄婚姻屆又は出生屆の提出を怠り居る者は此際大至急之を屆出らるべし

一、伯國に於て生れたるに依り伯國の國籍を取得したる日本人は出生の事實ありたる日より十四日以内に所轄總領事館に日本の國籍を留保するの意思を表示するにあらざれば其出生の時に遡り日本の國籍を失ふ

二、右規定に依り國籍を留保するには出生の屆出義務者が出生屆と共に國籍留保の屆出を爲すか又は出生屆中に左記の通り出生の時、場所等と並べて國籍留保の旨を表示すべし

出生の時　大正〇年〇月〇日〇時
出生の場所　伯國〇〇州〇〇線〇〇驛〇〇耕地
出生兒の爲め日本の國籍を留保す

三、國籍留保の旨を表示せざる出生屆又は國籍留保の旨を表示する屆書が出生後十四日以内に到着せざる出生屆は假令屆出遲延理由書を添付するも之を受理せず

四、但不可抗力に依り右期間内に屆出を爲すこと能はざりし場合又は右期間内に當館、分館又は出張所其屆書の到着實際困難なる地方居住者の屆出に對しては之が受理上相當酌量することあるべし

五、以上の手續に依り日本の國籍を留保したるものゝ外は、本年十二月一日以前に伯國に於て生れたる者が日本の國籍を離脱せんとするときは當館、分館、又は出張所を經由し內務大臣に許可申請の手續をなすべし

以上

大正十二年十一月

在サンパウロ
帝國總領事館
（Caixa Postal 1167 S.Paulo）

呼寄移民氏名

（ありぞな丸便乘）

德島縣　高知縣　愛知縣　廣島縣　沖繩縣　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝　仝

山田陸三　岡田勝　坂部義春　新城金人　手登根顯吉　與那嶺清榮　外間現次　大城堅義　大城蒲戸　同榮一　松吉蒲戸　知川カマト　神山カマツ　嘉陽宗善　同マツ　糸數マツ　名幸仁永　同マツ　田幸榮藏　花城清靜　翁長カマト　島袋ウミン　玉城カミ　上地源信　新城カメ　同マツ　金城マツ　喜屋武ウタ

右關係者は至急現住所通知ありたし本船は十二月十六日サントス港ノ豫定なり

海外興業株式會社移民部

大阪商船
日本郵船
切符取次所

謹告

拜啓每度御最負に預り厚く御禮申上候 就ては平素の御愛顧に報ずべく何等か御客樣方の御爲と成る事もがなと思案能在候處今回アンツーチスドスサントス會社と特約を結び大阪商船並に日本郵船の乘船切符取次を開始する事と相成り御歸國者各位の御便宜相計り得ることと弊館の最も欣快とし光榮とする所に御座候

御歸國の際は御遠慮なく弊館を御利用被下度、尚旅券査證等御問合せの場合は迅速に御回答申上候　敬白

大正十二年十二月五日

コンデ デ サルゼーダス街 四一
常盤旅館主 石原桂造
電話 セントラル 六一七三

OPTIMA TERRA

Proprietario, Mendes Campos Filho & Co. Rio de Janeiro

土地

ソロカバーナ線プレジデンテウエンセスラウ驛カイウア驛プレジデンテエピタシオ驛に跨る五万アルクレスはリオ市メンデスカムポス商會の所有地で其内カイウア驛附近二千アルケーレスを限り日本人諸君に提供します

二十アルケーレスを一區とし日本人には特に一アルケーレス以上ならば賣却します 價額は驛の遠近に依つて高下あり停車場より五百メートル以上は一アルケール二百ミル乃至三百ミルですから早いが勝です

支拂方法は四ケ年々賦とし入植申込と同時に三分の一を拂ひ込めば直に地券を渡します殘額は毎年一回收穫後とし全額一時拂に對しては一割五分を割引します

市街地として設定せられたる地區は間口二十米奥行四十米を一區とし毎區一[illegible]ミルにて賣却します

視察者の御便利の爲め御希望の方に限り殖民地迄の片道汽車切符を差上ます

尚詳細は下記事務所に就いて御尋ね下さい

聖市ルアジヨオンブリコーラ拾一番三階一號室
岸本テイシエイラ商會
電話セントラール六一四八

追而手紙にて御照會の節は左記宛に願ひます
Kishimoto & Co. C.P. 1124 S.Paulo

出張所
Pres. Wenceslau L. Sorocabana

◆日伯歌壇◆

露の朝

ほし

どこかで
鳥が啼き
東の空が紫色に映え
静かな霧が薄らぎ
夜つぴり清められた空氣に
赤い太陽が
ほがらかな
陽が浸んで
彼方の丘の上から
顔を出す
小さな翠の芝生は
寶石の首飾り！
心地よい露の朝。

旅行雜記

(五)　十四喜

雨か降つた翌日畑を通つてみるとコトンカタン〳〵と種蒔きであつた現金と云ふ言葉があるが、氣持好く當嵌る言葉だと私は熟々感じた。アメを貰つた子供の様に、雨を貰つた農夫は喜色滿面に溢れて居た。

未だ好い〳〵と高を括つてる間に一週間は夢の様に過ぎた。種々と友の叱言がうるさいので九日遂に歸聖と極めた。そしたらお定りの經濟學の講義であつた。畏つてハイ〳〵と神妙に聽講して、序に當地の物價を聞くと、驚いた〳〵塩一キロが二針だと、此塩梅だと何んだ塩位と云つて居た塩の贅澤も出來なく成る。パンノのバラ勞働と云ふのが三四針と云ふ處、旨いぞ！何故？、私は行商をしてみやうと思つてるが、聖市で一針五百から二針のが三四針だと大分ボロイ儲があるわい。『人半人前、ものを云はない御前が？ホ、、、』『叔母様の意地悪屋！僕にはちやんと……』『ホ、、、一体お前が儲かる心算なの？』お前が…のが、男子廿二才にして未だ斯の如し。叔母様は語せない事夥だし。米、豆、黍皆利に關係のない物なので忘れて仕舞つた。然し確かに高いと思つた。革命の餘波を受けて北西線は物價の昂騰を來し、セルボンなど違ひアラ・クワ線からカミニョンで買ふのが安いとの話であつた。北西線の運搬力の不足で本年賣出した棉が未だ倉庫の中に在つて、賣つた者も買つた者も大困り、中には金を前に缺乏して居る者もある由だつた。

九日朝五時と云ふに、私は床を放れて、耕地の自動車に投じた。皆が見送つて呉れた。戸の側に悄然り立つて居た叔母様…私は眞面目に動かねばならないと覺悟した。跳ね飛ばされそうな車道、葛に屢々帽子を掠められ乍ら、凹凸激しい險坂を自動車はペンナへと喘ぎながら走つた。途中、昨夜の雨に大木倒れ、横はつて道を塞いで居る、さあ事だ…運轉手様、鋸を持ち出した、一寸見た所二抱へもあらう一体何時間かゝるだらう？汽車に遅れたら？友の叱言がうるさいに、所が生憎水木と來てるので切れるは〳〵氣持の好い程切れる丁度○さんが豆腐切りにそつくり十一時半私は北西線の車中の人となつた。バウルに着いた時には、たつた一枚しかない所謂、私の一張羅の晴衣は名物の埃で眞赤だつた。又洗濯賃が六針かゝるか！

馬市に着くと私は九州旅館に投じたあの綺麗なお神様か一番に目に付いた、それは〳〵素張らしい別嬪様であつた。花なれば落ち來る風情、其の御愛嬌の好い事よ！ソロカバ驛へ便利の好い宿だと思つ。

其夜の八時の夜行列車は私を荷物の様に聖市迄運んだ。歸つて見ると矢張り聖市の女は美しかつた。チレイタ、キンゼの令孃？…素敵なものだ…白粉と着物、殊に帽子の御陰で……帽子に參つてる人もある。『此野郎バカブンドしやがつて』雨か？風か？形勢險惡、暴風の徴があつた。私の姿がポルタに現れると直ぐ發した友の言だつた。どうで碌な事を云はない我が友達だ、怎んな言葉位豫期した處だ。光つた眼が涼しく成り『お疲れ どうだ宜かつたか』やあ之れで助かつたと云ふもの。

◆食料品◆農產物仲買
◆雜貨品◆委托販賣
水谷商店
セ、セーザル驛モンソン

尋人
高見高市
右の者に至急要件あり御心當りの者は現住所御一報願上候
海外興業株式會社
移民部

ガラージ
ミカド
電話シダーデ四〇
(壹時間十針)

農產物仲買商
岡島商店
セ・セーザル驛
郵函、十四番

日本歸りの方々様へ
▲御土產や航海中の必要品などをサンパウロ市で買つて汽車賃や人足賃を掛けるのは無駄なことです
弊店は御客様の御爲めに應じ御土產並に船中必要品など何に依らず便利に御用達いたし船迄お届けします
サントス市
ラルゴセッテセテンブロ十六
上原商店

廣告

大正十三年七月二十二日法律第十四號及同年九月十二日勅令第二百十號に依り外國に居住すべきものが所有し又は專有して居た證券が震災に依り滅失又は紛失したるか爲め其査定を求むべき期間は同日即九月十五日から始めて向ふ六ケ月間であるから右の査定を求めんとする方は同期間内に左記事項を記載した査定請求書を司法省内の震災國債審査會に提出すべきである

一、國債名稱及總金額
二、證券記號、番號、並額面金額の種類及枚數　但し不明なるものに付ては其旨
三、請求人が證券に付其滅失又は紛失の際有したる權利
四、證券の滅失又は紛失に關する詳細の事情尚査定請求書には證明の資料を掲載し證憑書類ある時は其原本又は謄本を添付すべき事

大正十三年十月二十七日
帝國總領事館

運搬用
貸自動車業
市内プラサ、レプブリカ三七
電話シダーデ……三八九〇
原村喜之助

廣告

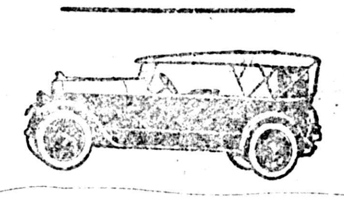
本籍　福島縣田村郡要田村大字笹山字庄司六二　渡航年月及船名　大正十二年九月　シアトル丸
佐藤曉數　明治十五年六月十八日生

本籍　長野縣小縣郡長窪古町大字三八四〇番地ノ號ノ一、渡航年月船名　大正七年十一月　讃岐丸
黎川欽次郎　明治三十五年五月十八日生

右の者の現住所を御承知の方は當館迄御申出下さい
大正十三年十一月
在サンパウロ
帝國總領事館

御旅館旭
加藤廣三郎
秋田幸次郎
聖市コンセイロフルタード一番
電話セントラル四一〇二

Rua B. de Carvalho No. 5
Telephone No. 156 BAURÚ
今度上記の場所に於て再び旅館開業仕り候間倍舊の御贔負賜はり度奉懇願候
澤尾ホテル
(舊ホテルコングレソ)
バウルノロエステ驛前
電話……一五六

自働車業
Garage Congresso
Praça João Mendes
Telephone Central 81


GARAGE
NORMAL
Tel, Cidade 56
Praça da Republica 3

回日本雜貨 獨逸品各種 賣藥、罐詰類、
色々玩具類、額面用ビードロ、額椽
バウルー市バチスタ、ダ、カルバリオ一四番
柳木商店

Y. KINJO
DENTISTA
齒科醫
金城山戶
聖市アッフオンソ ペンナ街三七
電話シダーデ 六二六七

東京館
電話シダデ一四七六番
ルアマウア二九一番
聖市ソロカバナ驛前

廣島屋旅館
聖市、コンセレイロ、フルタド街十六番、コンテ坂上）
電話セントラール……四四七六
小川源右エ門

旅館大和
圖こんにやく製造販賣もいたします圖
聖市コンデ、デ、サルゼーダス街五三番
防迫健造
電話セントラール五八一九

成功館
内國產鰹節製造元
古謝將義
サントス市ラルゴ セッテ デ セッテンブロ一五
電話二〇〇八番

御旅館常盤
聖市コンデ・デ・サルゼーダス街四拾壹番地（坂上）
郵函 壹八五〇
電話 セントラル六一七三

御旅館上地
聖市、ルア・ボニータ十一番
郵函 一二二五
電話セントラル 五七〇一

酒懺悔（六）

今宵金洲

其義父なき後、後目を繼いだが一年にして寺を去つた、出家が又ぞろ出家した譯である、當時の失策に對する自責の念が私を僧院からオン出したのは云ふまでもない、世の所謂生臭坊主とは私の事である、典型的生臭坊主だ、けれども今では私自身生臭坊主を以て誇りとし、幸福としてゐる、その說明は今はする場合でない。

失策の傑出したものでは交番の時計を叩きコワして何とか罪で起訴されかけた一件である、其頃私は東京の或る新聞社に勤めてゐた、此間本願寺の特派使で當地へ立寄つた松原至文氏が私等の部の頭で同道で警察署長の許へ謝罪に行き漸つと事は濟んだ。

その頃新聞記者と警察官との間には妙に反感じみたものがあつて警察官に對すると理が非でも能く反抗的態度に出た、新聞記者の方から見れば警察の留置場位へブチ込れた所でお里が解ると直ぐ出して吳れると云ふ事を承知してゐるので一寸惡戯半分に警官をカラカツて見ると云ふ風があつたのである、

同じ社の仲間で同窓であつた友人と駿河臺のその友人の下宿で一升德利を倒した後で仕事だ、確か夜の八時か九時頃だつたと思ふ、電車通りまで友人に送られて、電車に乘らうとしたが、混んでゐて容易に乘れない、車掌は車上から警官は下に居て頻りに乘客に注意を與へてゐる、と六十あまりの品の好い老人が車掌の制止も聞かず乘らうとしたのを巡査が洋服の袖を摑へて引下ろした、老人が怒る、巡査も怒る、そこへ私が一角の町やつこか何かの心算で口を出したので、トド二人は交番へ引張られ口論の揚句ステツキで交番の內部をなぐり付けると、交番內の時計が叩きこわれたのである、ハツト吾に反つた時はこわれた時計の硝子の破片が慘めに狹い床上に散つて居る、それから又私は何がどうしたのか覺えないが、目が醒めると自分の下宿で寢てゐる、そして枕頭に書付が置いてある。

午前八時迄に○○署へ出頭すべし　○○署

私はギクツとした、時計は既う十二時だが遲くとも出かけねばなるまい、その日は丁度日曜だつたが新聞社には定つて日曜日はない、お晝頃から出掛ける習慣だつたので、私はメシを濟ますと重い頭を抱へて下宿を出た。事に依つたらブチ込まれはしないか知ら、それなら社の方へ先づもつて事情を打ち明けて應援を請はうか、巡査が捕へに來ない所を見ると大した事でなさ相にもある、まゝよ命令通り警察へ―で私は閾の高い○○署の門を恐る〳〵潜つた、昨夜の元氣は何處へいつたやら……

◎ボンタ●ダ●プライヤの夜

北男

沖合はあらしの前奏曲のやうに夕暗のなかを波は狂つて居た。電車をジヨゼムニーノから來ると一走りに海上學校の前迄來てしまつた。邦人漁夫の多く住むでるこゝらの家々ではいつも晩飯時分にはペツシをテンプラする匂がプン〳〵してるので、空腹を抱へてでも行かうものなら、腹の虫がぐう〳〵鳴つてとてもたまらないのだが、今日は天長節祝日といふので、私も財布の底をはたいて生き〳〵した鯛の刺身で一杯やつて今日の佳き日を祝つた後なので虫の奴もおとなしくして居る、こゝらの人たちも今日は早くから夕飯を濟したものと見えて、燒魚の匂もしないカンテラの火ではあるが、心なしか平素よりも明るい家の內では汐風にさらされたあから顏を五ッ六ッならべてピンガの瓶を前に世間話に打ち興じて居た。あまりの陽氣さに私も足をとゞめて聞いてゐると、話は自然と過去の思出から現在の境遇に對する不滿さてはこれからのそれはほんとうに夢のやうな誰も豫知することの出來ない將來の事に迄で落ちて行つた。

先刻からの御神酒が大分まはつてゐらしく暴もいつか眼のふちを赤くそめてゐる、廿七八にもなるだらう一人の男はいふ「そうよ俺も日本を出るまでには、貧乏なんてくそでも食へみんな見て居てくれ今にこの俺か……」そう思つて出て來たのだが此の有樣では、どうにもなりやしないやムと苦笑しながら前にあるカリスをやけにつかんでぐつとあほつた。そうして又話しつづけた「ヤハリロテリヤだねこうなるとロテリヤでも一つ打ちあてなけりや……」その時迄だまつてみんなの話をきゝながら、刺身ばかりつゝいて居た此の中で一番年少らしいのが突然口を開いた「ほんとうだね、あゝ五百コントス許り當つて吳れないかな、そうしたら俺は日本へ歸つてあの俺の村の、裏山をズラリと買占めて見晴しい、所へ西洋風の煉瓦造りの家を建て、外出する時はいつも自動車を飛ばして」はなしてはいかにも近い內にこんなことか實現されるかの樣に希望に輝く眼を見張りながら自分で自分の話に熱しながらなほも話しつづけた。（未完）

◎ 寄住人

常に心は華かに、愉快に、爛熳であれ、何事にも輕はずみであるな、玩弄であるな、いつも心の殿堂深く秘められた鈍重のほの見ゆる風情あつて欲しい、たとひ人間本來の欲求がほとばしつたとしても尙一片ゆかしさがうなづかれるだらう。然し華かとは裝飾することではない、愉快とは笑つてゐることばかりではない爛熳とは口數多いことではましてな

愚妻イト儀産後の肥立ち惡しく療養中餘病併發百方手を盡し候へ共藥石効なく遂に去六日午前七時永眠致候間此段生前辱知諸彥に謹告仕候

十二月七日

夫　中林建二
長女　母惠
親戚　橋本文作
友人　栗田蘭太郎
總代　武市正隆

亡妻イト葬送の際は御多忙中にも拘らず遠路御會送被下候段難有奉鳴謝候一々拜眉御の上禮申上可き筈の處乍略儀紙上を以て御禮申上候

十二月七日
エスピリタ街參拾七番　中林建二

辱知諸彥

廣告

會長　佐藤半三郎
副會長　丸味彝二郎
會計　下小牧吉之助
監査役　永井廉造
學務委員　藤岡守人
敎員　楠元嘉吉

地方評議員
伊藤淸吉　城戸金作
福田富太郎　上師乙市
三島熊之丞　加納研三郎
中村牛哉
清水正市　志波時太

今回總改選の結果右之通り當選相成候に付此段廣告候也
追て本會へ入會の上寄附者左の通りに付此段廣告候也

寄附金額　氏名
一金五十釺　佐藤佐四郎
仝二十釺　勝田卯太郎
仝　荒巻久松
仝　永井末松
仝十釺　和田靜一

カンニンデ驛サンタクルス
日本人後援會

荷物運搬用
貨自働車業
邦人諸彥に對しては特に迅速丁寧に致します
市內プラサ・ダ・レプブリカ二七
電話　シダーデ　七八
岩本秀雄

CAFE & RESTAURANTE JAPONEZ
Rua Conceição, 92 S. Paulo
聖市コンセイソン街九二番
中村勝盛

◆綿作地賣却
ソロカバナ線ボルトフエース驛から四キロ綿作其他雜穀栽培に適當なる土地をロツテで年賦拂ひに賣ります
地權は確實で價額も割安です御希望の方は左記へ問合せ下さい
聖市ルアサンベント四十番二階二十番室
ラベーロ、シントラ
又は
ボルトフエリース市
フランシスコ、ノゲイラ

歸化手續取扱ひ
サントス在住日本人諸君の歸化手續の大部は私が致しました、最も迅速確實に取扱ふのを本領と致して居ります、其他法律上凡ての御相談に應じます
御相談は日本文でも宜しふ御座います
サントス市アマドル●ブエノ街四一番五番室
法學士　ルイス●アルバレンゲ
ラミーロ●カリエロス
Rua Amador Bueno, 74
Santos

サンス驛ルイスガーマ街
大ふく旅館
鈴木昌吉

ホテル　ねすたそん
麻州カンボグランデ驛
宮平市榮

大阪商船會社
日本郵船會社
國際汽船會社
御用達
各艦船食糧並ニ船具賣込業
ヤマカ合資商會
小淵 前田　合同經營
サントス市
マルチン●アフオンソ街四十一番
電話　セントラール一九七三番

Elíxir 914
GALVÃO & Cia.
Av. S. João, 145 S. Paulo

◎黴毒根切妙藥◎
▽本劑は黴毒に對する唯一の科學的血精劑です。
▽黴毒性リユーマチスに惱む人、流産の癖ある御婦人は本劑數瓶を試みなさい直ちに効顯があります
▽其他フエリーダ、瘻管、毛脫け、潰瘍、ハゲ等黴毒性諸病にお困りの方は今日から本劑をお用ひあれ。
▽本劑には砒素も沃化物も含んでは居ませんから服藥の爲め胃腸を害ひ歯を痛め其他身體を損傷する樣なことは決してなく自然的に血を淨め內臟の機能を整へる効能がありますから安心して服用が出來尙酒精の風味を帶び誰方の御服用にも向きます
（國內到る處の信用ある藥店にあり）
（一九一六年二月二十一日附衞生局認可）

日光館
榮門松
サントス市プラツサ、デ、ジヨゼ・ボニフアシオ五十一

日本旅館
北西線バウル驛前
沖山心平
屋比久孟德
玉那覇重榮

◆雜報◆

●邦人官軍に殺さる

ソロカバナ線の奥には革命軍の追討に赴いた官軍の一部が尚殘つてゐるが之れはサンパウロ市でも同じことで掠奪強姦殺人有りとあらゆる悪いことをする其の附近の住民迷惑此上なく現に邦人の澤山居るプレジヨン地方では去る六日福岡縣人梶彦太郎養子は官兵の爲に殺され同じく高田市太郎は重傷を負はされ目下サンパウロに來て治療中である何様官兵は給料の不渡が多く其爲め到る所民家を掠奪して歩くのだが昨今は邦人の被害も中々少からず右に付き帝國總領事館から第二師團長ソクラテス中將に交渉する所あつたるが駐屯軍はマトグロツソに居る司令官に屬するとかで直接ソクラテス中將から何とすることも出來ぬが事情は直に陸軍大臣へ通牒して應急の處置を採らせる様にするからとのことであつたとか、何れにしても聯邦の官兵であるだけ州政府でも手が着けられずとは困つたものなり

●視察者頻々來聖　東京海上保險會社専務取締役平生釟三郎氏並に前代議士一宮房次郎氏外一名は歐米視察の途次本月始め着伯去十日朝入聖した一應邦人の狀態を視察し度いとと云ふことで一行は去十一日バウル向け出發ノロエステ線より黒河方面を廻つて本週末歸聖の由

●高岡ドクトルの張宴　今回試驗に及第したるを機とし平生懇意にせる知人數十名を招ぎ去十日より三日間に亘つて公認披露の宴を張つたが交友多き同氏のことゝて毎日非常の盛會なりしと受驗模様に就いて語る「全く馬鹿にしてます、前の論文がイケないと云ふので今度又新に別の論文を出すと其方は碌々質問もせず前の論文で澤山だと云ふのです全く狐につままれた様の形でした然し試驗官が『俺が悪かつた』と謝つたのは痛快でした」因に同氏は伯國の公認などを既の河童とも思つて居らず目指す所は他にある模様で今後もコツ／＼勉強を續ける由なり

●大豆の品切れ　稀有の旱魃で大豆がサッパリ取れず其の爲め醤油製造家の間に大恐慌を來たし近い内に品切れがするであらうとのこと

●日本人が優等で及第　州内ジャボチカバル藥學校に在學中の故北島研三氏令息弘毅氏は先頃學期試驗を受けた處博物學が九點五分（十點滿點）であつた外他は全部滿點一番で進級した由にて其の爲めアニユーマス附近の邦人迄が鼻を高めたりさ

●歸朝一束　當領事館の齋藤總領事五反田書記生リベロン分館の石原書記生は何れも本省より歸朝を命ぜられ來月末のメキシコ丸で歸る由尚聖市總領事館は後任の來る迄當分春日副領事が代理として勤務する筈でサントス出張所は聖市から誰か轉勤する筈なるが多分は嶺書記生が行くであらふと

●クリスマス祝賀會　市内日伯合同日曜學校の小林美登利氏は毎年クリスマス祝をやつてをるが今年も盛大にやる由にて藤崎商店、カーザニツポン、日貿、瀬木、中矢などから澤山寄贈品があり來る二十七日午後七時から祝賀會を催し邦人側からも子供の外大人のコト、シヤクハチの合奏もあるとか

●永田稠氏退伯　信濃土地組合の用務を帶びて去八月再渡伯せる仝氏は一先づ用事も形付いた爲め去六日聖市の重なる日本人を請じて別杯を擧げ仝八日サントスより米船ヴウザンクロスで歸國の途についた

●大野長一氏歸國　イグアペ殖民地の土木主任大野長一氏は家事上の都合で一時歸國することゝなり明十三日サントス發シヤトル丸で出發

●釣錢に注意　中央金庫出張所（デレガシアフイスカル）では職員の取扱ふ釣錢の間違しく公衆が損をし一再ならず問題を起す此程もファストカバーリヨといふ男が同所で六百レースの收入印紙を八枚買ひ五十ミル札で拂つた所が釣錢が三十五ミル二百しか無い四ミル八百の釣錢には止に十釬不足である早速に抗議に及んだが職員は確かに五十釬に對する四ミル八百の釣錢を出したと頑張りド、

●年末の景氣　ナタルも近寄り市中の各商店は例年通り年末大賣出しの物凄い程の景氣は付けてゐるがホンの空景氣にて實際は革命の餘波で依然として客足が付かず商店とて云ふ商店は何れも弱りだと

●メキシコ丸は來週　來週初めサントス港のメキシコ丸では水野龍氏の外新同胞が九分が來る由水野氏は家族を連れ若龍の一同はパラナ洲に落付くべしと

●自動車激增　市内の自動車は最近非常な增加にて既に八千五百臺を突破し年内には九千に垂くだらうとのことリオ市は八千臺から餘り增加せず來年は聖市の方が上に成るだらうと

●イグアッペ便り　共拓會が郷と懸つて所得割が掛ることとなり特等から甲乙以下六等として特等百ミル六等七ミル迄▲今度外務省の六拾万圓補助は呼寄及再渡航にも及ぶと會社からの通達その爲め申込者四五十名もあつた所が會社事務所へ行つて證明書を貰ふとすると白鳥支店殿一土地代金が少ししか入つてゐないから差し上げられない若し證明書が欲しければモウ一同分と利子とに拂へ』と云ふ此の手で沖繩縣人も六七名やられた▲今年の懸案なる產業組合も未だ設立の運びに至らず米の販賣などいつも商人にしてやられるが殖民は未だ眼覺むるに至らず共拓郷が波渡場の倉庫を手に入れて愈々本式にやるかどうか目下村の衆の評判である

●邦醫留學生近況　今月始め試檢を受けたる所第一回に於て渡邊醫學士のみは全課及第他の三名は二科目だけ及第三科目がイケなくて來年三月迄のびることゝなつた渡邊氏のみは引續き後科目を受驗中なりと

●爲替　十二月十日リオ正金銀行支店郷里送金建相場一円につき伯貨三ミル四百レースなり

御禮

小生儀

今回一身の都合にて退社仕りノロエステ線バウル市に根據を置き土木業に從事の事と相成候間此上共御贔屓の程願入候

尙在職中の御愛顧を謝し併せて皆様方の御健康を祈り候

野村秀吉

レジストロ植民地
桂植民地
チユキア線
セツテバラ殖民地
辱知諸彦

御暇乞

一時歸國の爲め御暇乞に參りました折御多忙中御丁寧な御待遇を蒙り尙御餞別迄も下され厚く御禮申上ます實は一々御禮狀差上ぐべき筈もありましたが行李早々心急がはしく失禮ながら玆に紙上にて御禮申上ます。何れ一ヶ年後には又御目にかゝります、さらば皆様御達者にて

十一月十二日
シヤトル丸にて
紺野里吉

絶交取消廣告

大正十三年十一月二十八日日伯新聞第三百九十九號第二欄の絶交廣告に對し此度日本人會長武部繁氏吉本亀吉氏松岡政治氏溝淵秀馬氏の御仲裁に依り此處に圓滿なる解決を致し候事誠に以て感謝の意に堪へず右謹告仕り候也

大正十三年十二月八日

西野嘉市
森喜代三

阿波丸便乘　呼寄移民氏名

廣島縣　川野一人
同　川久曉八
佐賀縣　江頭勝次
同　古賀靜雄
福岡縣　樋口懿德
同　衣笠コマ
沖繩縣　島袋幸直
同　長濱文男
仝　奧本大呂
同　仲村カマダ
仝　外間伊八
仝　野原幸德
同　島袋金助
同　與那城久米助
同　屋トドウ
同　新里謙吉

右關係者は至急現住所通知ありたし本船は十二月二十八日サントス入港の予定なり

海外興業株式會社移民部

通譯募集

通譯二名募集す、希望者は當社迄申込まれたし

十二月一二日

海外興業移民部

ノロエステ方面

日本人諸彦へ謹告

當銀行は今般貴地方面諸支店所在地に於ける日本人諸彦に對し總ての御用命に應じ旁々御便宜を計るがため近日中當銀行員明穗資氏を特に出張せしむる事と致しましたから此旨謹告致します

サンパウロ ノロエステ 銀行本店

故宮崎信造氏石碑建立寄附金及額芳名

一金百ミル也　上塚周平殿
一金廿ミル也　コチヤ無名氏殿
仝　前田吉太郎殿
仝　金城山戸殿
小計　金一百六十釬
累計　一コント七百八十四釬

大正小學校後援會

VENDEM-SE TERRAS NA L. NOROESTE

Superiores para cultura de Café e cereaes, criação de porcos etc., nas Fasendas S. Joaquim e Mirandopolis.
Propriedade de Senador R. Miranda e Deputado L. Miranda

ノロエステ線土地賣却

一、位置　ノロエステ線バクリー、コトヴエロ、ルッソンヴサヲ、マッシヤード●デ●メリヨ各驛を土地内に有し總面積五万アルクレス下はチエテ河より土山脈地に到る、低地三百米突より高地五百九十米突此土地は上院議員ロドルフオ●ミランダ氏及令息下院議員ルイス●ミランダ両氏の地にして其の務確實にして保證に一般有識者の認むる所です

二、地味最良肥沃にして珈琲、穀物類、養豚、牧畜に適當なる地にてパウダリヨ、ポセシヤンガーダ、フイゲーラ、アー肥沃を證據立つ

三、地割一區十アルケレスを最少限度として幾千アルケレスにても御望みに應じ御視察の上御申込大面積者は各地に於て分割致します

四、御視察の際は當アラサツーバ驛にて事務所御訪問下されば一般御便宜取計ふべく當市より自動車道あり土地内四方を通すれば御希望の御案内申す

五、支拂高低の差に依て價格一定せず初年入殖の時に三分一及半金殘額二ケ年拂御思考に應ず

六、將來の發展ノロエステ保線課にてアラサツーバ驛より山脈線に變更する設計ありて其變更線は本地内を通過して將來マトグロツソ州の進化と共に農產物の輸出も最も有望の地點です

七、本地は小生ロドルフ●ミランダ氏より測量設計分割其他道路一般土木事務引き受け居れば土地全般の責任を負ひます御視察上多少に拘らず御求めの程願上げます御照會被下れば早速詳細説明測量圖の地圖同封にて御返事申し上ます

▲事務所　ノロエステ線ルッサンヴイラ驛拾二粁米

土木主任技師 兼支配代理人　林田鎮雄
SHIZUO HAYASHIDA
Est. Lussanvira L. Noroeste

◆當社貸付移殖民諸君に謹告◆

當社は貸金整理の必要上返濟不良若くは辨濟の誠意なき者は御氣の毒乍ら本國保証人から頂戴することに致しました本年三月から或地方に對しては强制執行の取立を開始しましたが漸次他地方にも及ぼす手筈になつてゐます後で色々御苦情のない様豫め御含み置きを願ひます

若し何等かの事情の爲めに拂込みの出來ぬ諸君はその事情を詳記して當店宛御申越下さい日本で取立の際の參考に致します

大正十三年九月

海外興業株式會社伯國支店
Kaigai Kogyo Kaisha
Caixa 1082 S. Paulo

大正十三年十二月十二日 金曜日 第四百一號

Nippak-Shimbun

12 de Dezembro de 1924 N.401

伊達騒動

錦城齋貞玉演

第八十九席

若館の危急

若士息せき切つて事の急を告げ、愛宕下田村隠岐守殿の屋敷へ罷り越して右の次第を申述べると、生憎前夜からして御不例との事にやむを得す立歸つて右の次第を申述べると流石の淺岡、鐵之助もはつと思ひ、暫くの間は途方に暮れ我々斯くも若館を御守り申上げるのに、如何なれば斯く危き事ばかり起るか、素性卑しき修驗者を此處へ招き、怪氣なる祈禱をさすと云ふのは油斷の成らぬ事乍ら、相後見の田村様御病氣の為め御出仕相成り兼ねると云ふのは生憎の事と思ひ居ります。兵部少輔は喜んで、兵「隠岐病氣とあらば萬事斯く云ふ兵部の扱ふ所、最早猶豫致す場合で無い、奇妙院早々に是へ參つて御祀禱致せ」との言葉に奇妙院心得て其處へ參る、此奴に於ても固より兵部に加擔致して居りまする者で、去り乍らお居間にて御祈禱致す譯には相成りませんから、二間隔てたる所へ祈禱の檀を拵しらへ、荒莚を敷き其上に奇妙院は坐り、前には鏡を立て三十六本の白幣をば列べ自分に於ても亦御幣を打振り頻りに經文を唱へて居ります、尤も愈々御祈禱すると云ふ場合には、弟子四人を其席へ招き、眞中に奇妙院ひかへまして東西南北に共に弟子が列んで御祈禱を始めました、然る所奇妙院の祈禱が始ると御曹子は愈々お苦しみ甚しく、躰熱往來致し、お胸の痛み甚しく、淺岡鐵之助等は一方ならぬ心痛を致し、既に三日と云ふものは祈禱を續げましたが御全快所か追々にお苦しみは勝るばかり、家臣總出仕でございまして何れも御殿へ詰め切つて居ります、廣尾兵部殿にも早朝より出仕に相成つて夜に至る迄も席に控へ様子を窺つて居りまする、然るに第三日目に祈禱相濟んだる時に奇妙院、奇「エ、御一統へ申し上げまする、已に三日の間御祈禱を致して御全快の驗見えざるは、何か是には不思議の事あらうと心得ます、就いては若館へお目通りの上お様子を伺ひ奉り度く存じます」淺岡鐵之助の兩人之を聞いて、鐵「イヤ若君お目通りの儀は相成りません、お次に在つてお祈禱の儀は廣尾殿の言附さあり、御後見のお言葉なれば已むを得すお許し申した、なれどもお目通りの儀は相成りません」兵「コレ〳〵淺岡鐵之助控へて宜しからう、奇妙院の申すには尊顔を拜さんければ祈禱が成し兼ねると云ふ、固より若館のお全快を願ふ者なれば、お目通りをさせるも苦しうない、某れしが差し許す若館を是へ」兵部の言葉でありますから出來ませんと云へず、淺岡に於ても、淺「然らば只今お目通り仰せ付けられます」奇妙院謹しんで其所に頭を下げて居りまするに、鐵之助は油斷なく幼君のお側に附き添ひ、淺岡がお抱き申して夫へお立出に相成りましたが、熱湯の如き汗をお流しに相成り只ハツハとつく息のみ荒き御様子でございます、兵「奇妙院お病氣の爲なら遠慮に及ばん、お容態を承はれ」奇妙院心得て手許より取り出したる榊の枝を左の手に携へお側に罷り出でまして、奇「乳母上のお顏をお上げ下さる様に」始終頭を下げて居りました淺岡も已むを得ず、淺「若様、若様お顏をお上げ遊ばせ」頭を少し上げますと奇妙院は左に持つたる彼の榊で頻りにクジを切る様子シゲ〳〵お顏を見て居りましたが、奇「エ、早宜しうございます」此奴是から何を仕出かしませうか又次回のお樂しみ……

本紙定價改正

來年一月一日より

一ケ年金廿五ミルレース

大正十三年十一月廿八日

日伯社

時報社

徵集延期に關する告示

第一、明治三十七年十二月二日より同三十八年十二月一日迄に生れた者及今迄徵集延期中の者は大正十四年度徵集の延期方及在留證明方を申願すべし
但し大正十四年四月十五日迄に滿三十七歳に達する者は大正十四年度の徵集延期願を差出すに及ばず

第二、在留證明願の日附は大正十三年十二月一日以後のこと、但し右證明願は便宜上本年十一月五日より之を受付く

第三、在留證明手數料は五ミルレースとす但し本邦へ願書發送方希望の者は手數料及返信料郵送料八百レース合計六ミルレース」同人所在地へ回送方希望の者は貳百レースを加へコンパロール、便為替若は銀行為替にて送金すべし證明手數料を郵便切手にて納付する者あるが之が爲め手取扱料は必ず現金又は為替にて送付すること但しミル以下の端數は郵便切手にて送付するも差支なし

第四、手數料、郵便料、返信料は成るべく願書と同封にて發送すべく金員丈を發送する場合は金人の氏名並現住所を詳記したる書類を封入すべし

第五、本年十二月始めて證明願を差出す者に限り日本出發、伯國上陸年月日を左記の通り記入すること

日本出發 年月日 ⎫ 氏名
伯國上陸 年月日 ⎭ 年月日生

第六、願書の宛名は左記の通りに記入すること

在サンパウロ 總領事 齋藤和殿

第七、在留證明願(サンパウロ總領事館へ提出の分)に關し本館へ照會する場合は發信人の氏名現住所の外本籍地をも詳記すること

第八、在留證明書を本人より在諸地へ送付の場合は必ず書留郵便を以て其の領收書は保存しおくこと

第九、徵集延期願出の爲めに要する在留證明願書は本年度上の都合に依り「イグアペ」「ジュキア」及「サントス」方面在留者の分も共に在「サンパウロ」帝國總領事館に提出すべし(以上)

大正十三年十一月

帝國總領事館

Consulado Geral do Japão
Caixa Postal 1167 S.Paulo

OSAKA SHOSEN KAISHA

發着廣告

日本より
しやとる丸 リオ發十二月十六日 サントス發十二月十三日
めきしこ丸 サントス着十二月十六日 リオ發一月二十四日

詳細は左記へ御照會下され度候

常盤旅館 聖市、コンデ、四十一番
Antunes dos Santos e comp. Rua José Bonifacio 17 S. Paulo
Rua do Commercio. 84 Santos
Wilson Sons & Co Ltd Av. Rio Branco 17 Rio

DR. M. SAÇADA
MEDICO E OPERADOR
C. Postal, 124 Est. Lins
Linha Noroeste

伯國リオ醫科大學醫學士
笹田正數
ノロエステ線リンス驛
郵函 一二四

Dr. Takaoka
Medico e Operador

醫師 高岡專太郎
聖市 ファグンデス街八
電話 セントラル 四一八〇

Fujisaki & CO.
Rua São Bento, 38-A
Tel. Central—2768
Caixa, 344 São Paulo

日本雜貨

藤崎商會

本店 リオデジャネイロ
支店 ペルナンブーコ
支店 サンパウロ、ルア サンベント六八A

FERNANDO HAKRADT Co
Rua de S. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 984 São Saulo,

肥料 肥料

作物に肥料は一番入用です、弊店の肥料は獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリヨ等夫々別の肥料を差上ます、品物は極上有効です
四月十五日より一噸に付十ミル値上げす
日本人諸君には特に御便宜を計ります

聖市 ルアサンベント三十三番二階七號室
フエルナンド ハツクラト商會 九八四

創節
鹽辛
干魚

K

三共商會

發賣元 サントス市ルア、セナドール ダンタス五十番
電話 セントラール 三〇五四番
カイシヤ 三二八番

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD
Rua da Candelaria No. 23
Caixa No. 380
RIO DE JANEIRO

横濱正金銀行支店

リオ、デ、ジャネイロ

▲歸里送金▼

一、御送金の伯貨は當店にて受取りたる當日の爲替相場にて日本金に換算可致候
二、日本内地郵便爲替料、書留料其他總て當店に於て負擔いたし即ち全く無手數料にて御郷里の受取人へ送り屆け申上候
三、金子はコンパロール、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行宛としてバンコ、コンメルシアル、エスタード、デ、サン、パウロ又は御便宜の方はバンコ、ロ、エスタード、デ、サンパウロへ御拂込被下ても差支へ無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候

預金
日本貨定期預金利息 六ケ月以上年六分
伯貨定期預金利息 (六ケ月以上年四分五厘)(壹ケ年以上年五分)
伯貨當座預金(小口) 年四分

預送金用紙は御請求次第直に御送付可致
不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
預金通帳は書留郵便にて御送附可申上候
間申込之際は最寄郵便局御指定相成候はば御便宜に有之候
敬具

キトリテ アガミノヤ エニハラル セシ